

研究機関：広島大学

研究課題名	異状死事例における社会決定要因の検討
研究責任者名	広島大学病院 総合診療科 教授 伊藤 公訓
研究期間	2020年5月21日(倫理委員会承認後)～ 2023年3月31日
対象者	2001年4月から2021年3月までの間、兵庫県監察医務室にて検死検案および解剖を施行された事例。
意義・目的	異状死におけるデータベースを用いた観察研究は少なく、本研究の結果により、異状死のリスク因子を検討し、原因を推測することで、今後の予防等の介入につなげることが可能になると考え、本研究を計画しました。
方法	本研究は、過去の検案、解剖記録を用いて行います。 使用する内容は性別、年齢、死因、死亡時の状況、基礎疾患などです。 個人を特定可能な情報を削除したデータを兵庫県監察医務室から受け取り、広島大学と京都大学で解析します。
共同研究機関	京都大学臨床疫学部
試料・情報の管理責任者	広島大学 総合診療科 教授 伊藤 公訓
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合は令和3(2021)年10月31日までに、兵庫県監察医務室(担当 長崎 靖 連絡先 078-521-6333)までお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5555 広島大学病院 総合診療科 診療講師 宮森大輔